

建築設計 (2 年 後期)
No. -1 歴史的建造物の図面製作

出題: 中島 (智) 講師

Temple de la Fortune Virile à Rome

課題主旨

- 1) 原図は 17 世紀半ばの銅版印刷であり、それゆえ、線だけで陰影やテクスチャが表現されている。色でごまかすことなく単色の線だけで美しくプレゼンテーションする手法を体験する。
- 2) 正面ファサード立面図の原図には寸法の記載がない。詳細図に記された寸法から立面全体を再構成し作図する訓練をする。つまり、ある図面を正確に「コピー」することだけが本課題のねらいではない。
- 3) 近年、古典主義の歴史的建造物の保存再生が課題となることがあり、また、新築の場合でも古典主義建築に由来する建築要素を用いる例も多いが、古典主義建築の建築ヴォキャブラリーの無理解に起因する失敗が度々みられる。そうならないための一助として、古典の適切な比例に基づく作例に触れる。

参照原図

Temple de la Fortune Virile à Rome = フォルトゥーナ・ウィリーリス(男運女神)の神殿(ローマ)

- 1) エンタブレチュア、柱頭、柱礎の詳細図(半径=30 とした比例値の書込あり)
- 2) 柱頭の渦巻(ヴォリュート)の作図法詳細図(一部に半径=30 とした比例値の書込あり)
- 3) 正面ファサード立面図(寸法についての書込は一切無し)

イオニア式円柱による前柱式にして四柱式の神殿正面

- * 出典 CHAMBRAY, Roland Fréart, sieur de: *Parallèle de l'architecture antique et de la moderne*, Paris, 1650, 1702, p.41, p.61, p.63. 邦題『古代建築と現代建築の比較』
- * 用語については 2 年後期の西洋建築史講義で教授するが、各自、『建築大事典』などで調べておくこと。

要求図面(課題内容)

- * 横使いの A2 判ケント紙に、上記 1)の詳細図を左、3)の立面図を右にインキング仕上げで作図。枠と仏文タイトルも付すこと。なお、A2 判(594 × 420mm)より大きめに裁断したケント紙もあるので注意すること。
- * 製図ペン、カラスグチ以外のインキングは不可。着色も無用とする。
- * 原図は円柱の半径を基準寸法とし、さらにその 1/30 を下位の基準単位として寸法が記されている。本課題ではこの下位の基準単位、すなわち、半径の 1/30 を、詳細図では 1mm、立面図では 0.25mm として作図すること。ゆえに円柱の直径は、詳細図で 60mm、平面図では 15mm となる。
- * 柱頭、柱礎を含む柱の高さは半径の 18 倍、柱間寸法(柱と柱の間の内法寸法 = インターコラムニエーション)は、左から右へ、半径の 4 倍、5 倍、4 倍とする。
- * ペディメント勾配、扉の高さなどは各自、図版を測って参照すること。ただし、原図は数度の複写を経ているので歪んでいる。半径の整数倍、整数分の 1 などとなるように値を丸めることが必要。
- * エンタシスは数種類の曲線定規を組合わせて適切に作図すること。型紙を作って繰返し使用してもよい。
- * 彫刻、ペディメント上の彫刻台座、正面浅浮彫、フリーズ装飾などの彫刻要素は描かなくてもよい。

製図の進め方

建築設計 の最終日に課題説明を行う。各自、夏休みの間に作業をし、設計製図 の初日 9:00 ~ 9:15 に提出する。返却は 2 週間後とし、これ以降のビハインド提出は認めない。なお、他の課題と同様、本課題も提出しないと、本年度中の建築設計 の単位は取得できないので注意すること。

注意事項(採点基準)

- 1) 未完成図面の提出は不可。原図の拡大コピーの写しとりも試験の不正行為と同様であることに注意。
 - 2) 柱身の条溝、陰影を除き、詳細図、立面図の全ての建築要素が、**端正**に描かれていれば 60-100 点。
 - 3) 上記に加えて、条溝、あるいは陰影まで、**端正**に描かれていれば 70-100 点。
 - 4) 上記に加えて、条溝、および、陰影まで、**端正**に描かれていれば 80-100 点。
 - 5) 条溝、陰影を含む全ての建築要素に加え、彫像や浅浮彫、フリーズ装飾などの彫刻要素まで**端正**に描かれていれば 90-100 点。
- * 原則として彫刻要素は描入れない。彫刻以外が出来ない場合、彫刻も評価対象としない。建築本体に力を集中すべし。
 - * 線をきちんと止めているか、にじんではないか、線の性質によって適切な太さのペンを選んでいるかも評価対象とする。したがって、条溝や陰影など「端正に」描かれていない場合、それらは最初から描かれていなかったものとして評価する。